情報処理演習 (8)配列その2 文字列

知能システム学 准教授 万 偉偉(ワン ウェイウェイ)

課題提出の締め切りについて

- ・ 毎回授業の始まりまで 厳守
 - -1:30pm
 - システムが自動的に計測しますので、1分過ぎて も遅延として取り扱われます.注意してください.

課題の問題

- マクロの定義
 - 大文字にすること
 - 関数内ではなく、#includeの前にすること
- ・ 関数の宣言
 - -#defineの後、main関数の前、必ず関数を宣言すること
- ・ 多数の条件
 - 二つ以上の条件がある場合&&や||で接続する

| Decimal Mexagecimal lignary Octol Char | Octon Headers | Decimal Mexagecimal Binary Octol Char | Octon Headers | Octon Hea

文字を表す型

- 文字(漢字, ひらがな除く)は合計数十個
 - アルファベット(大文字・小文字), 数字, 記号
 - 8bit (256通り) で表すことが出来る
- 文字を表す型: char (character の略)
- 整数を表す型の一種(int などの仲間)
 - 通常, char 型は 8bit
 - 通常, int は 32bit (16bit の機械・マイコン系も)
- 文字コードを得る方法
 - 'a' のようにシングルクォートで挟む char ch = 'a';

文字列とは

- 文字が並んだもの
 - "ABC" → 'A', 'B', 'C' の3つの文字が順に並ぶ
 - C言語では「文字の配列」として表現される
- 文字とは
 - それぞれの文字に番号が振られている
 - 例えば 'A' は 65(0x41), 'B' は 66
 - '0' は 0 ではない (文字 '0' は 0x30 = 48 で表される)

確かめてみる

シングノ

#include <stdio.h>

int main(void) {
 int a;

整数の変数 a に⁰A' を 代入している

• 結果はA is 65 (%xなら16進数)

a = 'A';

return 0;

}

printf("A is %d¥n", a); ・ということは

a = 'A' とするのは a = 65:

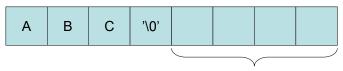
とするのと同じ.

文字列

- ・ 文字の配列として表現する
 - char str[10]; str[0] が1文字目, str[1] が2文字目, ・・・
 - 文字列は "ABC" のようにダブルクォートで表現
- 最後に終端記号(ターミネータ, '\0')を置く
 - char str[3] = "AB"; の場合 str[0] の中身は 'A' str[1] は 'B' str[2] は '\0'
 - '\0' = 0 であって, '0' ではない('0' は 48)

終端記号(ターミネータ)

char str[8] = "ABC";



無視する

- ターミネータが来るまでが文字列とする -ターミネータ以降は無視する
- 利点
 - 文字列の長さを別の変数に管理する必要がない

文字列の表示

- printf では %s で表示することが出来る char str[] = "ABC"; printf ("string is %s\n", str);
- ひと文字は %c で表示することが出来る printf ("character of 48 is %c\n", 48); printf ("character of str[0] is %c\n", str[0]);

プログラム例

```
#include <stdio.h>
#include <stdio.h>
int main( void )
                                  int main( void )
char moji[] = "Moji1";
                                  char moji[6];
printf( "String = %s\n",
                                  moji[0] = 'M';
                                  moji[1] = 'o';
moji );
                                  moji[2] = 'j';
return 0;
                                  moji[3] = 'i';
                                  moji[4] = '1';
                                  moji[5] = '\0';
                                  printf("String = %s\n", moji );
                                  return 0:
```

左のプログラムと右のプログラムは等価

getchar()

- getchar()が実行されると、キーボードからの入力を待つ。それまでプログラムは次の命令を実行するのを待つ。
- ・キーボードからの入力はリターンキーを押すまでは、プログラムに伝わらない。
- · 入力された文字は、入力ストリームに保存される. リターン(改行)も保存される.
- · getchar()は、入力ストリーム中の一つの文字を読み込む、
- ・連続してgetchar()を呼び出すと、最初に呼び出した getchar()だけが、キーボード入力待ちを行い、次に呼び 出したgetchar()は、入カストリームから文字を読み込み に行く、この動作は入カストリームが空(EOF)になるまで 行われる、入カストリームが空(EOF)になれば、再度キー ボード入力待ちを行う。

文字列の初期化

- ・ 配列を直接, 文字列で初期化できる
 - char s[] = "ABC"; char s[] = { 'A', 'B', 'C', '\0' }; と同じ 要素数は3ではなく4になることに注意
- 要素数を省略することが出来る

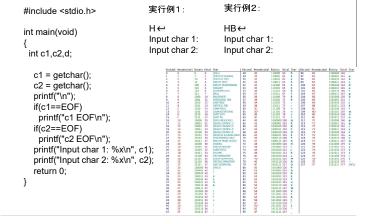
制御文字

- 改行記号 '\n'
 - '\n' (=10) は画面に出力されると改行する
- 終端文字(ターミネータ) '\0'
 - 文字列の終端を表す
- その他多くの制御文字がある
- 制御文字は単一の文字としても、 文字列中でも利用できる
 - '\n'
 - "ABC\n"

getchar()

- キーボードから一文字だけ読み込む関数
- 呼び出すごとに次の文字を返してくれる
- 終了時は EOF (End Of File, -1)を返す
 getchar () は int 型を返す
- EOF はファイル(ストリーム)の終端で発生する
 - キーボード入力時は ctrl を押しながら D を押す

getchar()プログラム例



CRŁLF

• パソコンによって、改行のコードは違う

- Windows : CR LF (0d 0a)

- Unix : LF 0a - Mac : CR 0d • CRとLFとは?

- CR: Carriage Return(行頭に戻る)

- LF: Line Feed (行を送る)

元はラインプリンタのヘッドの制御から来ている ラインプリンタでは、ヘッドを行頭に戻してから、行を送っていた

cast

・ 型を明示的に変換する

- (double), (int) のように型名を括弧で囲む int a; double b; char c; /* 変数の宣言*/ b = (double) a; /* 実数型に変換*/ a = (int) b; /* 整数型に変換*/ c = (char) a; /* 文字型に変換*/

(キャスト:鋳造する,型にはめるの意味)

注: 実際には、キャスト演算子はなくても、自動で型変換してくれるが、 ある方が、プログラムのミスを防ぐことができる

文字列操作関数

- 文字列を取り扱う関数が用意されている
 - str·・・という名称の関数群
 - strcat: 2つの文字列を接続する
 - strcmp: 文字列を比較する
 - 同じなら 0, 違う場合は辞書順に -1 または 1
 - strcpy: 文字列をコピーする - strlen: 文字列の長さを返す
- 文字列長に制限のあるバージョンもある
 - strncmp, strncat など